

【実施期間】○月～○月

【実施場所】県内日本語教室

【受講者募集方法】各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行う。

【受講者見込数】○人 (○人×○か所)

【講師】○人 (うち、日本語教師 ○人)

【内容】※具体的に記載すること

ボランティアが地域に在住する外国人を対象に、それぞれの課題意識に基づき日本語指導を行う。

○月 第1回 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○月 第2回 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○月 第3回 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○月 第4回 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無】
(あり・**なし**) ※○で選択してください。

② 小規模な民間団体等が実施する日本語教育への支援	交付団体数	2 団体
---------------------------	-------	------

本欄に記載のうち、補助金等を交付して実施する取組における交付団体数

※日本語教室を行う場合は、以下のテンプレートを活用し、記載してください。
 ※日本語教室以外の取組は、【名称】【目的】等のテンプレートを基本に、項目建てて記載ください。
 ※活動が日本語教室の場合は、【新設・既設の別】を○で選択してください。

(取組①) 地域日本語教室で役立つ「やさしい日本語」講座

【名称】○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【新設・既設の別】(**新設**・既設) ※○で選択してください。

【補助金交付の有無】(**あり**・なし) ※○で選択してください。

【目的】地域日本語教室に参加する者や外国人住民の周囲の人たちが、日本語学習者の日本語学習を促進するための方法として身に付けておくとよい「やさしい日本語」について学ぶための講座を、年に○回開催する。

【実施回数・時期】 東部地域 ○年○月上旬 00:00～00:00 (○時間)
 西部地域 ○年○月上旬 00:00～00:00 (○時間)

【実施期間】○月～○月

【実施場所】東部地域 ○○ホール/西部地域 ○○ホール

【受講者募集方法】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【受講者見込数】2地域の合計 ○名

【講師】○人 (うち、日本語教師 ○人)

【内容】

- ・日本語教室ってどんな場所?
- ・やさしい日本語の作り方
- ・やさしい日本語の活用事例紹介

コメントの追加 [A1]: 補助金等 (補助金・負担金・分担金・交付金) の交付も想定されていますが、事業計画において、その具体的内容が示されていないことが多いため、こういった目的で支援が行われるかが分かるようにしてください。

